

DDX-sub•sub W. G. 会合議事録

1. 日 時 昭和58年8月26日(金) 13:30~17:00
2. 場 所 東大炉ブランケット棟会議室
3. 出席者 6名(敬称略, 順不同)
中沢, 井口(東大), 菊池, 大山, 山野(原研), 南(富士通)

4. 議 事

(1) 前回議事録確認等

(2) DDX比較プロット作業用プログラムの最終的仕様について

FAIR-DDXコードとDDX-PLOTプログラムの内容について、最終的な打ち合わせを行なった。南委員よりFAIR-DDXコードのマニュアルの追加変更説明の後、DDX-PLOTプログラムの図形表示ルーチンVISUALの使用法について山野委員より補足が行なわれた。各々のマニュアル作成が南委員と井口委員に依頼され、コードの整備、レポート化も含めて今年中に完成させることが取り決められた。

(3) DDX比較プロットの作業分担について

FAIR-DDXとDDX-PLOTを用いてDDX実験データとの比較プロットを進めるにあたって、当面の作業内容と分担体制について検討された。その結果、9~10月を目途に上記プログラムの使用経験を積むことも兼ねてFNSの日米共同実験解析用の6核種、Li, Fe, Ni, Mn, C, Oを対象とした比較プロットを行なうこととなった。又、作業の分担メンバーには、主として、井口, 中田, 大山, 大村(代理), 菊池の5委員があたり、約2ヶ月の期間で一通りの処理を終えることが取り決められた。

さらに、DDXの実験値の収集作業は、中沢委員が担当することになり、まずは実験グループとのコンタクトや入手可能な実験データの一覧表を作成することとなった。

(4) その他

菊池委員からFNS日米共同実験解析用核データ評価作業の進捗状況についてコメントがあり、特に、Feの核データ評価に、DDXの形での実験値との比較を用いる旨が報告された。